

「田んぼのオーナー制度」
草刈りや野菜の収穫を体験

今年度2回目となる「田んぼのオーナー制度」が7月27日、松野地区で開催されました。

9人の参加者は松野地区の営農集団「ほのぼの営農集団」の指導を受けながら、5月に田植えをした田んぼの土手の草を鎌で刈りました。

草刈り終了後は場所を移動して、オーナーたちが手入れし、実ったなすの収穫を楽しみました。各自袋いっぱい収穫したなすを持ち帰りました。



大越啓介さん

日本競輪学校に合格

大越啓介さん（小川）は、作新学院に通学し、自転車部の練習に励んでいましたが、このほど、プロの競輪選手を養成する日本競輪学校に合格しました。

中学1年でレース用の自転車を買ってもらったのが競輪を目指す契機となり、プロ選手を輩出する作新学院高に進学しました。1年の時、県高校新人スポーツ大会でみごと優勝し、全国大会に出場しました。3年間の通学は喜連川の道の駅から作新学院までの往復を自転車で行き、脚力を鍛えた結果、当初短距離が得意だったのが現在は、1、000mが得意となったそうです。これからの目標は「競輪学校は10カ月で卒業ですが、その時は1位の成績で卒業したい」と意気込みを語っていました。



那珂川でシモノ・ジャパンカップ

鮎釣り選手権大会東日本大会

2008シモノ・ジャパンカップ鮎釣り選手権大会セミファイナル東日本大会が8月9日、那珂川の新那珂橋上流で行われ、地区大会を制した64名が釣果を競いました。

競技は2試合の合計匹数と占有率で競い、上信越大会を勝ち進んで出場した小澤剛さん（愛知県）が28匹を釣って、占有率22・44の勝点32で、みごと優勝しました。優勝した小澤さんには、佐藤佳正副町長からコシヒカリ15kgの米俵が手渡されました。また、参加者全員に小砂焼きの湯飲み茶碗が送られました。

なお、チャンピオンを決める全国大会は9月6・7日に島根県の高津川で行われ、上位入賞した7人が参加しました。



町長室で関東中学校水泳
競技大会出場激励会

馬頭中2年の山内楓磨くん（馬頭）は、平成20年栃木県中学校総合体育大会水泳競技会並びに第46回全国中学校水泳競技大会予選会の100mと200m背泳ぎで関東大会へ出場することにになり、8月6日、町長室で激励会が行われました。

川崎和郎町長は「努力はうそがない。その成果が出ているので、自信を持って、練習の成果を発揮してほしい」とあいさつ。その後、激励金を交付しました。

山内くんは「日ごろの練習の成果を発揮し、少しでもいい成績が取れるようがんばります」とお礼の言葉を述べ、8月9日から11日に宇都宮市で開催された関東大会へ出場しました。



夏休みに「禅」の体験

8月5日、19日、26日の3日間、夏休みからスクール「子ども禅のつどい」が乾徳寺(馬頭)で開催され、小学生など20人が参加し、お参りの仕方・坐禅・写経などを体験しました。

坐布に腰をおろし、足を組んだ児童らは、お経を唱えたあと、ゆっくりと目を閉じ、セミの鳴き声がかかります。本堂で、ひっそりと瞑想に耽りました。

和尚さんから「姿勢がまっすぐだと心もまっすぐになります」と説明を受け、姿勢を正す児童たち。警察で右肩を打たれるなど、厳しい作法を一所懸命に学びました。



子ども会レクリエーション大会

子ども会相互の親睦と心身の健全育成を図るため、子ども会育成会などの主催による「第3回子ども会レクリエーション大会」が8月23日、総合体育館で開催されました。

当日は、天候不良によりスーパードキックベースボールが中止となりましたが、ソフトバレーなど3種目37チーム約200人の選手が、仲間の声援のもと、北京オリンピックに負けない熱戦を繰り広げました。

大会結果は次のとおりです。

- ソフトバレーボール(全17チーム)
優勝 8区A/準優勝 白久B
インディアカ(全6チーム)
優勝 4区A/準優勝 13区A
3on3バスケットボール(全14チーム)
優勝 9区A/準優勝 9区C



三和天祭り

地域に受け継がれて来た祭りを継承しようとして8月31日、三和神社(三輪)で三和天祭りが開催され、第9区(三輪・神田町・東戸田)の小中学生20人が踊りを披露しました。

400年前から伝えられたという天祭り踊りは、県民俗芸能百選にも選ばれている伝統ある踊りです。子どもたちは夏休みに地元の人たちからこの踊りを教わり、一所懸命練習しました。そして、台風シーズンを迎えて農作物への被害が最小限となるよう神様をお願いする踊り「うたさぎ」など12景を披露しました。

また、小川地囃子保存会と那須小川まほろば太鼓が賛助出演し、花を添えました。



梅曾公民館、北向田公民館 備品整備が完了

昨年度完成した小川地区梅曾公民館と馬頭地区北向田公民館の備品の整備が完了しました。

各公民館には、テレビなどの視聴覚関係の機材や机、椅子、棚などの各地の公民館活動に必要な備品がそろい、これから地元の方のより活発な活動の拠点となることが期待されます。

梅曾公民館の備品整備の総事業費は、2,318,392円で、北向田公民館は1,033,395円でした。このうち、梅曾公民館では、2,300,000円が、北向田公民館では、1,000,000円が宝くじの助成を受けています。

